

【平成17年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

| | | | |
|-------|------------------------------|---------|-------------------------|
| 事業名 | 産業教育を応用した問題解決能力向上プログラムの開発と実践 | | |
| 学校法人名 | 学校法人 有坂中央学園 | | |
| 学校名 | 中央情報経理専門学校 | | |
| 代表者 | 理事長 中島利郎 | 担当者・連絡先 | 下田秀之 (Tel.027-253-0709) |

<事業の概要>

考える力が学校教育で求められている現在、産業界で確立・評価された問題解決技法を学校教育に転換・活用し、専門学校向けのカリキュラム・教材並びに指導者養成プログラムを開発する。それによって、社会人・専門学校生が職業において求められる問題解決能力を早期に養成する。また、その為に必要な調査・研究も実施する。

具体的には、日本科学技術連盟におけるQC・TQC等問題解決プログラムの実態、産業界におけるQC・TQC活用事例、アメリカの大学におけるTQMの実際、専門学校における考える力教育の実際について、調査を行った。また、アメリカの大学におけるTQMの活用事例と専門学校における問題解決事例、ハイパフォーマーの行動特性を研究した。それら調査研究の内容を踏まえ、教材・カリキュラムの開発を行った。

<成 果>

1. 調査事業

産業教育推進機関調査、産業界におけるQC活用調査、専門学校へのアンケート調査、文献調査などの各種調査を実施し、日本科学技術連盟におけるQC・TQC等問題解決プログラムの実態、産業界におけるQC・TQC活用事例、アメリカの大学におけるTQMの実際、専門学校における「考える力」教育の実際が明らかになった。

2. 研究事業

アメリカの大学におけるTQMの活用事例と専門学校における問題解決事例を研究した。また、高い業績を上げる教員(ハイパフォーマー)の行動特性(コンピテンシー)を研究し、その行動特性を明らかにした。

3. 開発事業

調査研究事業の成果をもとに、教材として、マニュアル6種類、テキスト5種類を作成し、そのためのカリキュラムを開発した。また、視覚教材としてDVD、教材活用の解決サイトのモデルとしてのホームページを作成した。

4. 実証講座、成果報告と普及事業

- ① 実証講座などを通して、開発プログラムが幅広い受講対象者に共通して利用できることを確認した。
- ② 成果報告会を通して、事業成果の普及を図った。
- ③ アンケート調査協力校(全国専門学校経営研究会加盟校)ほか全国の専門学校や社会人教育期間に報告書を配布し、教育プログラムの普及を図る。